

切磋琢磨Ⅲ

本日で2学期終了です よいお年をお迎えください 🐻🐻🐻⇒🐮🐮🐮

市内駅伝大会 自己ベスト更新続出で大健闘！

豊橋市小学校最後の部活動大会「駅伝大会」に、本校から3チーム出場しました。どのチームも心を一つに、たすきを繋いで全力で戦いました。自己ベスト更新者がたくさん出ました。

混合 12位 女子 37位 男子 43位



2学期終業式（12/23）

本日をもって2学期が終了します。終業式を放送にて行いました。代表の子らが、2学期の振り返りと3学期に頑張ることを発表しました。緊張しながらも、立派に発表しました。一人ひとりがこの2学期を振り返り、新しい年に新たな目標をもってスタートしましょう。1月7日、全員そろって3学期をはじめると楽しみにしています。いつもとは異なった年末年始になりそうですが、家族の一員としてお手伝いなどもしっかりとやりましょう。

せいっぱい生きることの素晴らしさ「池江璃花子さん」

今年度、校長先生の話は「さ行」で進めています。

「さ」さわやか:コロナ禍だからこそ、さわやかに過ごしたい

「し」しあわせ :しあわせは自分でつかむもの

「す」すきこそもののじょうずなれ:さかなクンに学ぶ

そして、今回の終業式では「せ」せいっぱい生きることの素晴らしさについて子どもたちに話しました。紹介したのは水泳の競泳選手池江璃花子さんです。東京オリンピック金メダルの最有力候補として、記録を次々に更新していた彼女を、突然「白血病（血液のガン）」が襲いました。突然の病の発症で、絶望の底に落とされてしまったのです。彼女はその時の心をこう述べています。「思っていた未来が一夜にして別世界のように変わる。それはとてもきつい経験でした」と。どんなにつらい思いをしたかは想像できると思います。

しかし、彼女は闘病生活をとおして、多くの人々に支えられていることを知り、再起を誓いました。病に屈することなく、必ずや水泳の世界の戻ると。そして、目標を2024年のパリオリンピック出場に

場し、10月にはタイムを更新しています。

池江さんの「せいっぱい生きる」姿は日本中の人々を感動させました。それだけではありません。パリへの出場の目標は次第に無理だと思われていた東京オリンピック出場へと変わってきているのです。退院してから1年後、彼女は「正直退院してからものすごく辛かったです。ここまで来られた自分と支えてくれる周りの方たちに感謝しかないです」と心境をつづっています。苦しい日々を乗り越えてきた池江さんの姿に「せいっぱい生きることの素晴らしさ」を知りました。子どもたちにも、池江さんのように苦しいことにも負けず、「せいっぱい」頑張ったときのうれしさや達成感を味わえる人になってほしいと思います。

令和2年 立ち止まり、振り返り、前へ進んだ年

本年度より新たな3学期制が導入され、コロナの影響で8月17日から約4か月の長い2学期でした。1学期は基礎、2学期は充実、そして3学期はまとめの時期として位置付けられています。

夏休み中にコロナ感染が増えたときには、この2学期に諸行事を実施することさえ難しい状況なのではと半ば、諦めに似た気持ちになったときもありました。しかし、子どもたちの笑顔がたくさん見られるような2学期にしたいという思いで、できる範囲でできることを全力でやろうと「挑戦」する気持ちに変わりました。

子どもたちの笑顔に励まされ、先生方の熱量「子どもたちへの思いややる気」もひしひしと感じ、「やってやろう！」という気持ちにシフトした2学期。子どもたちが「充実」できるような取り組みに挑戦しました。中止となった野外活動をデイキャンプ「防災学習」へ、修学旅行の見学地を例年と異なる見学地としたコース変更やバスの1台増設。スポーツフェスタや本爺ランの内容変更での開催は、その一例です。

全校が集まれないために、放送を活用しました。先生方が「動画」を編集し、スポーツフェスタや本爺ランのイメージがもてるように工夫しました。子どもたちも自分たちで何ができるかを考えました。ふたがわん(F1)グランプリは運営委員会の子らの新たなアイデアです。みんなの特技や伝えたいことをビデオで紹介するという企画は、前回80名以上の発表者が集まる大盛況。すてきな企画になりました。

コロナで立ち止まり、時間をかけて振り返り、そして前を向いて進んだ2学期。この経験はこれからの学校生活に必ずや生きていくのだと信じています。今年は「子年」。十二支の最初に位置するこの年は、物事が始まる種を蒔く年だそうです。来年の「丑年」に、その種が芽吹くことを願っています。令和3年が皆さんにとって素敵な1年になりますように。よいお年をお迎えください。